

令和3年度 第4回白井市市民参加推進会議

日 時：令和4年1月12日（水）午前9時から12時30分
場 所：白井市役所東庁舎3階 会議室302・303

次 第

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議 題

1) 総合的評価における担当課ヒアリング [資料1]

- ・ 事業番号④ 第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定
（高齢者福祉課）
- ・ 事業番号⑤ 第5次総合計画後期基本計画（企画政策課）
- ・ 事業番号⑥ 白井市第2次教育大綱（企画政策課）
- ・ 事業番号⑦ 白井市教育振興基本計画策定事業（教育総務課）
- ・ 事業番号⑧ 障害者計画2016-2025中間見直し及び第6期障害福祉計
画・第2期障害児福祉計画策定事業（障害福祉課）

2) 令和2年度市民参加の実施状況に対する総合的評価について

[資料2・3]

- ・ 事業番号① 白井市情報提供計画
- ・ 事業番号② 白井市国土強靱化地域計画
- ・ 事業番号③ 白井市地域防災計画の策定

4. その他

5. 閉 会

市民参加推進会議
ヒアリング対象事業 質問及び回答

事業番号④ 第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定 (高齢者福祉課)

質問事項	回答
【審議会に関する質問】	
①審議会では特定の委員だけでなく、全員が発言できていたか。	議題によって数名の委員の発言が多くなる場合もありましたが毎回同じ委員というわけではなく、審議会全体を通して全員が発言できていました。
【パブリックコメントに関する質問】	
②パブリックコメントが1件と少なかつた理由についてどのように考えているか。	本計画は市民意見等を反映しながら作成していることから、内容について市民の要望に沿ったものとなっているため意見が少なかつたものと認識しています。
③パブリックコメントのみ広報が不十分であった理由は、また、周知をもう少し積極的に行う必要があつたと思うがどのように考えているか。	パブリックコメントの周知方法については広報しろいのほか、市ホームページ、情報公開コーナー、図書館、各センターでのポスターによる周知を行っています。記載が漏れておりましたので修正します。
④パブリックコメントの結果公表をホームページに限定した理由は、	結果としてホームページに限定した公表となつたため、次期計画では、いただいた意見をより広く公表できるように情報公開コーナー、図書館へも公表します。
【アンケートに関する質問】	
⑤回収率が高かつたが、回収率を上げるための取り組みはあつたか。	アンケートの締め切り1週間前に督促のはがきを送付しました。
⑥対象者を65歳以上に限定した理由は、若い世代の意見も取り入れるべきではないか。	アンケートは、国の指針に基づき実施しており、必須とされる2つの調査(65歳以上を対象とした「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」、要介護者を対象とした「在宅介護実態調査」)及び、各市町村が任意で実施する調査があります。今回の任意調査として国から示されたものが「介護人材の確保」、「介護施設入退所に関する調査」とあり、当市でも課題としている介護人材の確保について、各事業所の状況を伺う「介護人材実態調査」を実施しました。 65歳以上の介護保険利用者を対象とした調査が多くなっていますが、より具体的な実態や課題を把握する観点から、介護保険への関心が高い層や関りが深い層を対象としてアンケートを行いました。

<p>⑦対象となった人数は約 15,000 人と思われるが、発送件数は2,500 件なくても実態は捉えられたのではないか。</p>	<p>今回のアンケート内容は前回の内容を基本にしたものであったため、回答結果について比較しやすいよう同数としたところです。</p>
<p>⑧氏名を記入させる必要はあったのか。また、プライバシーとの関係をどのように考えているか。</p>	<p>記名式を取ることで個人を特定し、その結果について総合相談をはじめとする地域包括支援センターによる支援活動に利用しています。 そのため、プライバシーに深くかかわる点ではありますが、取り扱いには細心の注意を払い記名式で実施しているところです。</p>
<p>⑨「在宅介護実態調査」及び「介護人材実態調査」の内容が調査票に記載されていない理由は、実施したのであれば評価点数に影響があるので調査票に追加してほしい。</p>	<p>添付が漏れておりましたので追加提出いたします。</p>
<p>⑩「在宅介護実態調査」及び「介護人材実態調査」の結果については審議会に報告されているか。</p>	<p>「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」と同時に、審議会に資料の配布、説明及び議論を行っております。</p>

市民参加推進会議
ヒアリング対象事業 質問及び回答

事業番号⑤ 第5次総合計画後期基本計画策定 (企画政策課)

質問事項	回答
【審議会に関する質問】	
①公募委員は平成29年8月に就任しているが、計画策定に携わったのは平成31年1月4日からということか。	<p>事業開始日とした平成31年1月4日は、後期基本計画策定に係る取組のうち、最も早い着手となった転出入アンケート調査の開始日であり、審議会として具体的に計画策定に携わったのは、後期基本計画の策定方針やスケジュールを議題の1つとした平成31年度第1回審議会（平成31年4月26日開催）以降です。</p> <p>なお、総合計画審議会が担任する事務については、基本計画の策定に関する事項について調査審議するほか、基本計画の進捗状況について市長に意見を述べることも含まれており、平成29年8月の就任以降、後期基本計画策定着手までの間は、市が前期基本計画において実施した施策の評価を中心としていたところです。</p>
②事業期間終了日（令和3年3月8日）と審議会委員の任期満了日（令和2年8月30日）が半年ずれている理由は。	<p>任期満了前である令和2年8月28日に総合計画審議会から後期基本計画（案）について答申を得た後、市議会において、10月に後期基本計画に関する調査特別委員会が設置され、令和2年12月18日に可決されました。</p> <p>なお、答申において、市民等が後期基本計画の内容を具体的にイメージできるよう見せ方を工夫するよう意見があったことを踏まえ、市民団体などの現場の声を盛り込み、後期基本計画書が完成した令和3年3月8日を事業完了日としたところです。</p>
【パブリックコメントに関する質問】	
③パブリックコメントで「素案には反映できないが今後の参考とする」とされた意見はどのように審議会にフィードバックされたのか。	<p>パブリックコメントの結果については、令和2年8月に開催した審議会において議論いただいたところです。</p> <p>「市がすでに実施している取組が十分に知られていないため、見せ方を工夫してはどうか」「今後、事業を進めるに当たって反映できるものもあるのではないか」といった意見をいただき、答申に反映されたほか、事業の実施の参考とするよう全職員に通知しました。</p>

【アンケートに関する質問】	
<p>④「まちづくりに関する若い世代へのアンケート」の回収件数が少なかった理由についてどのように考えているか。</p>	<p>本アンケートは、市内幼稚園、保育園、小中学校の保護者を対象に、各学校等を通じてチラシを配布して依頼したのですが、アンケートフォームへの接続数が少なかったことからアンケートに興味を持った世帯が少なかったことが考えられることに加え、「e モニター制度」により行っているアンケートと比較して、アンケートフォームへ接続したものの、回答まで至らなかった比率も高いことから、アンケートの設問数が 27 問と比較的多いことも影響していると考えられます。</p> <p>また、住民意識調査の対象となった世帯や「まちづくりに関する e モニターアンケート」で回答した世帯も一部含まれており、別の方法により回答していることも考えられます。</p>
<p>⑤「まちづくりに関する若い世代へのアンケート」及び「まちづくりに関する e モニターアンケート」の結果を審議会に報告しなかった理由は。</p>	<p>回答に誤りがあり、正しくは「資料の配布・説明に加え議論を行った」でした。大変失礼いたしました。</p> <p>令和元年 10 月に開催された審議会において、住民意識調査の結果の速報とともに議題としたところです。</p>
<p>⑥「まちづくりに関する e モニターアンケート」の発送件数が 115 件と少なかったと思われるがどのように考えているか。</p>	<p>本アンケートは、市が実施している「e モニター制度」を活用して実施したのですが、登録者数の増は課題であるところです。</p> <p>令和 2 年度から、回答率が一定の条件を満たした場合に抽選でプレゼントを実施する制度を開始するとともに周知を図り、令和 2 年度においては登録者数が 280 名に増加しました。</p>
<p>⑦「まちづくりに関する e モニターアンケート」の回収率が 45.2%と低かったがどのように考えているか。</p>	<p>平成 31 年度に「e モニター制度」を活用して実施した他のアンケートにおいても回答率は 5 割程度であり、回答率の向上は課題であるところです。</p> <p>令和 2 年度から、回答率が一定の条件を満たした場合に抽選でプレゼントを実施する制度を開始するとともに周知を図り、令和 2 年度においては回答率が 7 割程度に上昇しました。</p>

【ワークショップに関する質問】

<p>⑧タウンミーティングの参加者が少なかった理由、市民意見交換会の参加者が多かった理由についてそれぞれどのように考えているか。</p>	<p>タウンミーティングにおいては、参加者の募集をホームページや広報等のほか、自治回覧や市内の各種団体にチラシを配布して行ったところですが、積極的に情報を得ない限り開催が気付きにくいことや、チラシを見ても総合計画がどういったものかわからないため、身近なこととして感じられなかったことが考えられます。</p> <p>市民意見交換会では、住民意識調査の対象者2,500人及び新たに無作為抽出した2,500名の合計5,000名に直接案内を送付したほか、白井高校への参加案内や、市内近隣の小売店舗にポスター掲示を依頼したことに加え、チラシにおいても、総合計画の説明を加え、総合計画がよりイメージしやすくなったことが参加者の増加につながったものと考えています。</p>
<p>⑨市民意見交換会は盛況な様子が伺えるが、それを文書で残し、職員同士で共有する等、次に生かすような対策はとられたか。</p>	<p>タウンミーティング及び市民意見交換会のいずれについても、報告書が完成後は速やかに全職員に通知することで、情報を共有するとともに、施策の立案や業務の参考とするよう図りました。</p>
<p>⑩「タウンミーティング」と「市民意見交換会」のそれぞれの違いや目的は何か。</p>	<p>タウンミーティングは、まちづくりの課題や問題などについて、広く市民の皆さんから市長が直接意見をうかがう場として継続的に実施しており、令和元年9月に実施した本タウンミーティングのほか、平成29年度には公共交通をテーマに開始しているところです。</p> <p>市民意見交換会は、タウンミーティングや各種調査などの結果を踏まえて、市民同士でさらに議論を深め、まちづくりのアイデアを後期基本計画策定に反映させるために、本計画策定において追加的に実施することとしたものです。</p> <p>なお、当日の具体的な内容については、総合計画や市の現状の説明を行った後に、グループに分かれ、テーマに沿って意見交換・ワークショップを行っており、いずれも同内容でした。</p>

【その他の質問】

⑪今回のようなバランスの良い市民参加の場が実現した要因は何か。専門家による助言や積極的な職員が策定に携わっていたのか、これまでの計画策定におけるノウハウなのか。

市の基本構想では、まちづくりの進め方として、市民と行政の間で情報を共有することや、市民が積極的にまちづくりに参加し、市民と行政が役割分担や連携のもとで協働していくことが掲げられているところです。

市の総合計画及び基本計画は市の最上位計画に位置し、市民や市民団体、事業者などすべての関係者に関わる計画であることから、可能な限り多くの市民が参加できるよう市として考え、策定を行ったものです。

市民参加推進会議
ヒアリング対象事業 質問及び回答

事業番号⑥ 白井市第2次教育大綱策定事業 (企画政策課)

質問事項	回答
【パブリックコメントに関する質問】	
①ホームページへのアクセス数が13件、意見が1人から5件と少なかったことについてどのように考えているか。	教育大綱は、家庭教育や社会教育、生涯学習といったすべての地域や年代を対象としているものの、学校教育に係る計画という印象を持たれ、子育て世代以外に関心がもたれなかった可能性があり、周知の仕方に改善の必要性があると考えています。
②パブリックコメントのみ実施した理由について	教育大綱(案)策定に当たっては、学校教育分野では、学校で実施している「学校生活満足度アンケート」のほか、校長会、教頭会などを通して子どもや保護者、現場の意見を吸い上げており、その他の教育分野においても、教育委員会各課が所掌する既存の審議会からの意見を踏まえているほか、後期基本計画策定において実施した住民意識調査や市民意見交換会の結果など既存の手法を有効に活用することを策定の方針として進めたところです。
③パブリックコメントで吸い上げられた意見をあまり計画に反映できなかった理由について	パブリックコメントで寄せられた意見については、市においては、教育大綱ではなく教育振興基本計画において具体的に示すこととしているものや、直ちに反映できないものの、今後の参考とするものであったことから、今回の素案の修正には至らなかったところです。
④パブリックコメントの結果を審議会へ報告したとの事だが、いっどのような形で報告されたのか。	策定方針において、市長と教育委員会から構成される総合教育会議の場で協議して策定することとしており、令和2年12月11日に報告したところです。

【その他の質問】	
<p>⑤パブリックコメント以外に独自の審議会設置やアンケートの実施などは検討しなかったか。</p>	<p>教育大綱(案)策定に当たっては、学校教育分野では、学校で実施している「学校生活満足度アンケート」のほか、校長会、教頭会などを通して子どもや保護者、現場の意見を聞く場を定期的に設けており、その他の教育分野においても、教育委員会各課が所掌する既存の審議会からの意見を踏まえているほか、後期基本計画策定において実施した住民意識調査や市民意見交換会の結果など既存の手法を有効に活用することを策定の方針として進めたところです。</p>
<p>⑥各分野の審議会、校長会、教頭会などの意見について審議会を設けて論議するべきではなかったか。</p>	<p>各附属機関、校長会、教頭会などの意見も踏まえ素案や案を作成し、総合教育会議において議題として意見をいただいたところです。</p>
<p>⑦調査票3ページの「8. 自己評価」の欄に「住民意識調査・市民意見交換会を活用し」とあるが、「住民意識調査・市民意見交換会を行い」が正確な表現ではないか。</p>	<p>住民意識調査や市民意見交換会は後期基本計画及び教育大綱のいずれも策定の基礎としていますが、教育大綱を策定するに当たり、平成31年2月に定めた策定方針において、後期基本計画の策定に当たって実施する住民意識調査などを活用すると記載していることから表記を合わせたものです。</p>

市民参加推進会議
ヒアリング対象事業 質問及び回答

事業番号⑦ 白井市教育振興基本計画 (教育総務課)

質問事項	回答
【パブリックコメントに関する質問】	
①パブリックコメントの件数が0件だったことについてどのように考えているか。	<p>教育振興基本計画の情報量が多いため、いつでもどこでも閲覧できるようQRコードを用いたところですが、周知方法の工夫が必要だったと考えます。</p> <p>また、概要版を作成することで、よりたくさんの人の目に触れたのではないかと考えます。</p>
②QRコードを用いた理由は若い方の参加を促すためだったのか。そうであれば、若い人がアクセスできる場所で積極的な広報が必要だったのではないか。	<p>教育振興基本計画の情報量が多いため、いつでもどこでも閲覧できるようQRコードを用いた。</p> <p>また、若い人がアクセスできるよう市公式SNSによるフェイスブックやTwitterなどでの発信も行ったところではあります。</p>
③パブリックコメントの結果を審議会へ報告したとの事だが、いつどのような形で報告されたのか。	<p>2月の教育委員会議及び各附属機関の審議会にて報告を行ったところではあります。</p>
【その他の質問】	
④独自の審議会設置やアンケート調査の実施などは検討しなかったか。	<p>教育委員会内で構成した策定本部会議や教育委員会議において検討を行い、次の理由から独自の審議会設置やアンケート調査について実施しなかったところではあります。</p> <p>(審議会を設置しない理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各分野に附属機関があること ・附属機関の構成員として市民公募委員が含まれていること <p>(アンケート調査を実施しない理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各附属機関や各学校でのアンケート調査実施 ・同時期に策定した「白井市第5次総合計画後期基本計画」のアンケート調査実施
⑤各分野の審議会、校長会、教頭会などの意見について審議会を設けて論議するべきではなかったか。	<p>各附属機関、校長会、教頭会などの意見については、教育委員会内で構成した策定本部会議や教育委員会議などで議論を行ったところではあります。</p>

<p>⑥コロナの収束の目途が立たないことから、今後は計画づくりにあたり決まりきったやり方以外も考慮していく必要があるのではないか。</p>	<p>コロナ禍の中、教育振興基本計画を実施していく上でどのような影響を及ぼしたかを事務事業評価にて検証し、指標にある目標値を見直すなど環境の変化や時代の変化にあわせて修正していく必要があると考えます。</p>
---	--

市民参加推進会議
ヒアリング対象事業 質問及び回答

事業番号⑧ 障害者計画 2016-2025 中間見直し及び第 6 期障害福祉計画・第 2 期障害児福祉計画策定事業 (障害福祉課)

質問事項	回答
【審議会に関する質問】	
①公募委員の人数が少なかったと思われるがどのように考えているか。	<p>肢体不自由、聴覚、視覚、精神、知的、発達障害等特定の障害に偏った委員構成にならないよう配慮や市内の関係団体等の全体のバランスを考慮した結果以下の構成としております。</p> <p>(1) 学識経験を有する者 1名 (2) 民生委員・児童委員 1名 (3) 公共的団体等の代表者 4名以内 (4) 障害者団体の代表者 6名以内 (5) 市民 3名以内</p>
②公募委員の 51 歳～65 歳の 2 名を選出しなかった理由は。	<p>応募動機が職務に適切であるものを優先、市政参画経験が少ない者を優先、男女比率の均衡、地域の均衡、年齢構成の均衡、同一団体・サークル等に所属していないか等を基準に順位づけした結果です。</p>
【パブリックコメントに関する質問】	
③ホームページのアクセス数や意見が少なかった理由についてどのように考えているか。	<p>当事者の人数、障害福祉への関心度、制度の複雑さ等が原因にあると考えております。</p> <p>共生社会の実現に向けた環境整備を推進してまいります。</p>
【アンケートに関する質問】	
④アンケート結果を審議会へいつ報告したか。報告していない場合その理由は。	<p>令和 2 年 7 月 1 4 日の令和 2 年度第 2 回白井市障害者計画等策定委員会にてアンケート結果を報告いたしました。</p>
⑤障害者手帳を所持していない市民 900 名を対象にアンケートを行ったがその内容は。	<p>障害者との交流状況、共生社会の実現に向けた課題、障がい理解に関する内容をアンケートいたしました。</p>

【団体ヒアリングに関する質問】	
⑥ヒアリングの結果については審議会へ報告・議論されたか。また、計画策定にどのように活かされたのか。	令和2年7月14日の令和2年度第2回白井市障害者計画等策定委員会にてヒアリング結果を報告いたしました。また、視覚障がい者にも配慮し、概要の点字資料、音声データ等の事前資料も作成し、委員へ送付した上で委員会を行っております。 計画への反映につきましては、白井市障害福祉計画・障害児福祉計画にヒアリング結果の要点をまとめたページを作成しており、同計画の各サービスの見込み量等の数値にも反映をさせていただいております。
⑦市内に障がい者関係団体はいくつあるか。また、ヒアリングに参加した団体は総団体数の何割か。	障害福祉課で把握しているのは、白井市心身連絡協議会に参加している5団体及び白井市こども発達センターの家族会であるいちごの会の計6団体になります。 全6団体がヒアリングに参加しております。
⑧ヒアリング団体を3団体とした理由は。また、なぜこの3団体としたか。	現状を把握するために当事者もしくは、当事者家族の団体である市内の全障がい者関係団体及び、障害サービス等の利用計画を作成している市内の全相談支援事業所にヒアリングを行いました。
⑨開催記録の公表までに1年かかった理由は。	アンケート結果とヒアリング結果を併せて、集計、分析、校正等を経て、基礎調査報告書として作成し、令和2年9月頃に製本したものを配布しております。 白井市障害者計画等策定委員会資料として、ホームページ、情報公開コーナー、委員へ随時公表を行っております。
⑩プライバシーに配慮した形の質問が必要と思われるが、どこまで内容を吟味した質問項目を設けたか。	取り組むべき課題を明らかにするとともにサービス利用量推移だけでは、把握できないニーズ等を読み取れる質問項目を国の基本指針も踏まえた上で設けました。 プライバシーについては、公表前にヒアリング団体に内容を確認していただいた上で、公表をしております。
【その他の質問】	
⑪資料等を福祉施設で公開しなかった理由は。	障害当事者だけでなく、広く意見を伺うため、市施設の中でも、誰もが出入りできる施設に資料を置き、パブリックコメントの募集を行いました。

30	21		17		17		21
			50 65 2 66 1 36 50 1				
			36 50 1				
							HP HP
	8		6	6	7		8
				16			
	7		6		5		8
	6		5		5		5
				1 ²			
	7		7		4		8
				1			HP
	6		6		4		5
				HP		SNS	HP
	8		6		6		9
()				HP			
	6		5		5		6
	7		6	30			8
						2	
	7		5				5

30	x	8		17	x	9		19		16
	1.	31 (1)						2 Zoom HP		/
	2.									
	4.			6				2		
	3	1. 31 1 2.		6		4		7 6 3		6
							oom 3			
	5			6		4		7		6
	0			5		1		5		4
		1. _____ 2. 3 ? 6		7					HP	
	5	3. _____		7		4		7		6
	0			5		1	Zoom	5		4
	5	1. HP 160 ? 2. HP 12/2 3. _____ 4. _____		7		4		7	HP	6
()	0	1. _____ _____		6		1		5		4
	5	1. ? 2. _____ 3. HP		6		4		7	HP	6
	2	1. _____ _____		5		1		5		4

2

30	17	18	16	16			
		60			3		
		6					
	8	7	7	5			
	5	5	4	6			
	4	6	5	5			
	3	3	3	3			
	3	4	3	3			
	8	6	5	0	8		
()		0					
	8	7	7	8			
	6	7	6	PR	8		
	2	8	5		6		

30	x	8	11	x	8	14	13	
	1. 5/30 2. 2 4/1 3. 3 3/ 4. ? 5. ?	1. ? 2. 2 2 1 3. 2 1 / 7 2 4. ?						
						3-3 6-2 1-3	3-4 6-3 6-7	
	5	1. 2. 3.	5	3		5	2-2	5
	3		3	4		6		4
	0		3	1		3		3
	2	1.	1	2		7		3
	0		2	1	oom	4		2
()	5	1. 1 2 8 2. ?	6	5		7		6
	1		8	1		4		5
	3	1. 2.	4	5		5		5
	1		3 0	1		3	4-6	3

2
2

資料 2

2

30	16		22		16		20
			PR			3	
	8		7	7 8 10 20 3 1 PR 30	7	8	
	5		8		5	7	
	3		7		4	5	
	3		7		5	3	
	3		6		3	3	
	5		9	13	6	10	
()			HP	5 13			
	6		8		6	8	
	7		8	PR 2 3	6	8	
	2		7	1 2 3	3	6	

30		10		13		12	18	15
	1. ? 2. 2 3 3. 2 ? 4. 1 5. 6.							/
	1. 2. 1							
	4	1. 2.	5		5		6	6
							$\frac{13}{2-2}$	
	4	/	4	/	5	/	7	5
	2	/	4	/	2	/	5	4
		1. 2.		2			3 2	
	3	3. HP	2		3			4
	0		3	3		oom	HP	2
		1. 1 2 5 ? 2. 3. 5 1 3		7				
()	7		7		7		7	7
	7		6	6	4		6	6
		1. 10 ? 2. 65%		4				
	2		4		5		12	6
	0		5	3 5				3

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2・3回会議での発言があったものを示しています。

¥4Å x2(q q

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号④ 第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定

委員氏名		平均(小数点以下切り捨て)							
総合評価 ①+②+③ 上限(30点)	△ 要改善 11点	◎ 良好 22点	△ 要改善 10点						
総合コメント	<p>1.事業内容から見て、委員は公算の個人、介護サービス事業者及び学識経験者だけではなく、医療・福祉・専門職・ボランティア・NPO法人他の団体も市民参加の対象とした方が良かったのでは。委員の発言状況はどうだったのか? 2.審議会が平成30年1回、平成31年1回、令和2年3回(内1回は、書面会議)は少ない。 3.事業期間が迫り、令和2年度の10月と12月にパタパタと策定したように見える。 4.形式的評価だけでなく、実質的評価による市民参加の評価も必要と思う。</p>		<p>・本事業計画策定に関して、アンケートの実施は、回収率も高く、非常に効果的で、評価できる。審議会に関しては、会議の運営に問題もあり、また、パブリックコメントは、何ら工夫、新たな取り組みも見られずいずれも評価できない。</p>						
担当課ヒアリング 質問事項	<p>・パブリックコメント、アンケートの周知をHP限定にしている理由は? ・アンケート対象を65歳以上に限定しているのは何故?子世代の意見も取り入れるべきでは?</p>		<p>・本アンケートの対象となった全市民の数は約15,000人とと思われる。アンケートの発送枚数は2,500件なくても実態は捉えられると思います。 ・本アンケートに関して、氏名の必要性はあるのか、プライバシーとの関係はどう考えているのか。</p>						
評価項目	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	
①市民参加の方法	評点	5	1.パブコメとアンケート調査を採用した理由は何か。 2.アンケートは個人だけでなく、団体等に対してもすれば良かったと思う。個人だけを対象としたのは何故か。 3.個人及び団体を含めた意見交換会も開催した方が良かったのでは。	8		4	審議会の設置、パブリックコメント、アンケートの実施は市民参加の方法として適切であるが、審議会の実施、パブリックコメントの実施に関しては、評価できない。本事業計画策定は、初めての計画策定ではない、過去の経験を生かした実施を望む。	9	・できればもう少し若い世代の人に参加してもらいたい。介護はこれからの課題なので、30代・40代の人にもっと関心を持ってもらうようにしてほしい。
	区分	やや不適切		概ね適切		不適切		適切	
②市民参加の手続き(基準)	評点	5		8		4		8	
	区分	要改善		妥当		不良		妥当	
③市民参加の手続き(水準)	評点	1		6		2		7	
	区分	普通		積極的		やや積極的		とても積極的	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	
審議会の設置	基準	1.応募者10名に対し、3名しか選出できなかった理由を知りたい。応募方法としてメール・FAXもあると良い。 2.審議会では活発な議論等があったのか、発言状況を知りたいと思った。 3.審議会の回数が5回? 3回?	基準	・合計10点	基準	・審議会の構成は、公募委員5名で、基準は満たしている。会議の開催が2018年12月、2019年11月各々1回、2020年に3回うち書面会議1回など運営は、妥当とは言えない。	基準	・会議の出席率が良い。	
	4		10		4		9		
	水準		水準	・合計9点	水準	・本事業計画策定は、初めての計画策定ではない、会議の開催など会議の運営に工夫がほしい。	水準	・6-6にあるような見る側への気配りはとてもいいと思う。	
	0		9		2		8		
パブリックコメント(意見公募)募集	基準	1.重要なテーマだけに募集期間は1カ月位は必要。 2.アクセス数が0ということは広報しただけでの事前周知に問題あり。	基準	・合計7点	基準	・募集期間に始まり、提供する資料、周知の内容等ほぼ基準通りである。	基準	・パブコメの公表方法がHPのみなので情報開示コーナー・図書館等でも行った方がよいと思う。	
	4		7		5		8		
	水準		水準	・合計6点	水準	・従来通りの方策で実施しており、何ら工夫、新たな取り組みが見られない。結果も生まれない。デジタル化も進み情報も多様化しておりデジタル化を手法に取り入れると、資料の提供場所に新たな先を採用するなどの取り組みを望む。	水準	・関心の高い事業だと思うのでもう少し意見があったらよいと思う。	
0		6		1		6			
アンケート調査の実施	基準	1.調査対象の年齢が65歳以上であるが、介護予防・日常生活圏ニーズ調査であることから、50歳代まで年齢層を下けた方が良かったのではないかと。 2.資料によると3種類のアンケート調査(調査票2頁)の記載もあるが。 3.アンケートの結果公表まで8カ月かかっているのは何故か?審議会で説明議論は8/26の書面会議であり、議論にならないのではないかと。	基準	・合計7点	基準	・65歳以上の市民を対象に地域も限定せず広範囲にアンケート実施。結果についての取り扱いもほぼ基準は満たしている。ただし、発送件数、調査票の氏名表示については検討を要す。	基準	・回収率がとても良い。	
	7		7		5		9		
	水準		水準	・合計5点	水準	・回収率も高く、結果は望ましい水準となっている。ただしプライバシー保護に関して疑問も残る。	水準		
	3		5		3		8		

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2・3回会議での発言があったものを示しています。

¥4Ä x2(q q

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑤ 第5次総合計画後期基本計画策定

委員氏名		◎ 良好 25点		○ 妥当 18点		○ 妥当 19点		◎ 良好 28点		
総合評価 ①+②+③ 上限(30点)		◎ 良好 25点		○ 妥当 18点		○ 妥当 19点		◎ 良好 28点		
総合コメント		・概ね良好な取組みがなされている。		・あらゆる方法を取り入れており大変素晴らしい。しかし、状況は一致していませんので、私は広義にとらえ方ではなく、そもそもの事業の概要や目的を狭義にとらえ方をした方が、白井市の未来はあると思います。		・市の最上位計画であることから、様々な市民参加の手法が行われており、基本的には問題はなかったと思います。ただし、アンケート調査の方法については、もう少し工夫が必要であったのではないかと感じます。		・総合計画の策定に相応しく、積極的に市民の声を聞こうとした姿勢が伺えた。パブリックコメントやワークショップ等で集められた意見が審議会の議論に反映されていたかは気になるが、実施時期から考えると、ちゃんと反映されていたのではないかと推察される。		
担当課ヒアリング 質問事項		・ワークショップ(令和2年度)が行われ盛況な様子うかがわれます。しかし、それを文書で残し、又職員同士で共有され、次に生かすようきめ細やかな対策をとられていますか。		・若い世代へのアンケート調査の回収の件数が少ないが、何か理由があるのでしょうか。タウンミーティングのワークショップの参加者数が少ないケースもあったが、何か理由があるのでしょうか。		・今回のようなバランスの良い市民参加の場が実現した要因は何か? 専門家による助言だったのか? もしくは積極的な職員が参加していたのか? これまでの総合計画の策定におけるノウハウなのか? ・パブリックコメントの意見において、「今後の参考とする」とされた意見はどのように審議会にフィードバックされたのか?				
評価項目	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		
①市民参加の方法	評点	10	・4方法の実施は評価出来る。		7	・あらゆる方法を取り入れている。しかし、具体的な方向性は見えてきません。地球環境についてなのか、少子化についてなのか、内容を多角的にとらえず、焦点を絞ったアンケートにした方がよいと思う。随分早く打ち勝つためにもその点を意識された方がよいと思います。		7	・市の最上位計画である総合計画の策定において、必要な市民参加は行われていると思います。	
	区分	適切			概ね適切			適切		
②市民参加の 手続き (基準)	評点	8	/		6	/		6	/	
	区分	妥当			要改善			要改善		
③市民参加の 手続き (水準)	評点	7	/		5	/		6	/	
	区分	とても積極的			積極的			積極的		
手法ごとの評価	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		
審議会の設置	基準	・評価出来る。		基準	・公選委員の地域が偏らないよう、又、年齢層も偏らないよう配慮されている。		基準	・審議会に関しては問題はなかったと思います。		
	10			7			8			
	水準	・結果公表が1か月以内でないのが惜しい。		水準	・コンスタントに会議がなされている。		水準	・問題はなかったと思います。		
	9			6			6			
パブリックコメント (意見公募)募集	基準	・概ね良好。		基準	・広報しつらい、メール等を利用して会議が一般に周知されていない。		基準	・パブリックコメントについて大きな問題はなかったと思います。		
	8			6			7			
	水準	・募集期間、提供資料が不足。		水準	・会議録の公開が2か月以内となっている。		水準	・一つ気になるのは、市にとって重要な計画であることから、パブリックコメントの期間をもう少し長くしても良かったと思います。		
	7			5			8	・パブリックコメントの意見について、全てが反映されていなかった。今後の参考とするとされた意見は、審議会判断されたのか?		
アンケート調査の実施	基準	・概ね良好だが、事前周知の方法に不足がある。		基準	・プライバシーに関わる情報等非公開でアンケートをされることはよいです。		基準	・アンケートに関しては、もう少し回収率を上げる工夫が必要であったと思います。		
	9			7			6			
	水準	・上記に同じ		水準	・Webによるアンケートは非常によいと思います。		水準	・若い世代へのアンケート調査など、回答数を増やす取り組みをもう少し積極的に取り組む必要があったと思います。		
	9			5			4			
ワークショップの開催	基準	・一部に取組不足がみられる。		基準	・タウンミーティングの意見交換会(令和元年度の時)を踏まえて令和2年度の意見交換会が活発な様子うかがえます。		基準	・ワークショップの開催周知が積極的に行われていますが、タウンミーティングでは参加人数が少ない回もあり、何か理由があったのか気になるかと感じます。		
	7			7			6			
	水準	・上記に同じ		水準	・土日に開かれているのは大変素晴らしい。		水準	・ワークショップの開催通知は、積極的に行われていると思います。		
	6			6			8	・通常の広報以外にも参加者を増やすための取り組みが行われていた点が評価できた。参加者も多く、大変良い機会になったのではないかと推察される。		

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2・3回会議での発言があったものを示しています。

¥4Å x2(q q)

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑤ 第5次総合計画後期基本計画策定

委員氏名		平均（小数点以下切り捨て）						
総合評価 ①+②+③ 上限（30点）	○ 妥当 14点	◎ 良好 21点	◎ 良好 20点					
総合コメント	1.公募委員に年齢の偏りがある。66歳以上の応募者が56%にも拘わらず、0人。無作為抽出は不要ではないか。 2.審議会の最後の2回の出席率が低過ぎる。日程調整をすべきだった。 3.パブリックコメントの時期が遅く、審議会への報告等が8/21と事業終了間際であり、意見等に対する委員の検討時間が無い。パブリックコメントの期限を定めるべきであった。 4.アンケートを4年実施しているが、2回は審議会への報告もなく、1件はいつ報告したのかは不明。計画策定にどのように活かされたのか、良く解らない。 5.2種類のワークショップの違いが不明であると共に、計画策定にどのように活かされたのか不明。審議会への報告なし。 6.手書き面だけでなく、内容・結果の実質的な面でも評価すべきだと思う。	・将来を考慮したもっと若い世代の委員参加が望ましい。	白井市の根幹を成す計画であり、市民の関心も高い計画である。情報・周知の伝達の方法・工夫により、積極的な市民参加事業となる。					
担当課ヒアリング 質問事項	1.公募委員は、白井市総合計画審議会の委員として平成29年8月に就任し、平成31年1月4日から今回の評価対象である第5次総合計画後期基本計画策定事業に携わったということですね。 2.アンケートの内、若い世代へのアンケートとモニターアンケートを審議会に何故報告しなかったのですか？ 3.タウンミーティングと意見交換会とは、どこが違うのですか？ 4.R1年9月に実施したタウンミーティングの参加者が少なかった理由は何ですか？それに比較してR2年1月・2月のワークショップの参加者が増えた理由は何ですか？		・ワークショップ後、資料は公開していないとなっているが、公開先にチェックがあるのほなせ。					
評価項目	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	平均	
①市民参加の方法	評点 5	1.審議会の設置は平成31年1月もしくは第1回の4月からではありませんか。 2.市民参加の手法を多く使ったのは良かったと聞きます。	7		7	・市民にとっても関心が高い計画である。ワークショップの開催は、市民との直接意見交換で、非常に効果的である。パブリックコメント、アンケートに於いては、意見を取るための工夫一つでより大きな意見が期待できたと聞かれる。	7	
	区分 やや不適切		概ね適切		概ね適切			
②市民参加の （基準）	評点 5		8		5		6	
	区分 要改善		妥当		要改善			妥当
③市民参加の （水準）	評点 4		6		3		5	
	区分 やや積極的		積極的		やや積極的			積極的
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	平均	
審議会の設置	基準	1.公募者16人中、3名を選び、2名は無作為抽出とする理由は？応募者が多いため5名共公募者から選んでも良いのではないかと。不採用者には不採用の理由を説明した方が良いのではないかと。 3.第10回と第11回の審議会を策定時期の出席率が低いことに問題がある。全体で66.47%。公募委員は40~60%。日程調整すべきであった。 4.公募委員の応募者が66歳以上が9名ありながら、決定者0人は何故なのか？	基準	・総合計画でもあり、将来を考慮したもっと若い世代の委員参加が望ましい。	基準	・ほぼ基準通りである。	基準	・委員の都合を確認しているのに出席率が悪い（低い）回あるのほなせ。
	6		9	8	7	8		
	水準		水準	・公募委員が33%、市内在住者が75%であり委員割合は充分。 ・会議録などの公開に各センターも加えるべきでは？ ・議案の経過を内容毎に分けて記録出来ないか→全ての中からある事項の議論推移を確認して行くのは難しい。	水準	・白井市の根幹を成す計画であり、公募者の割合がもっと多く期待したい。	水準	・もう少し日程調整できたのではないかと。
	5		6	6	6	6		
パブリックコメント （原簿公開）発表	基準	・意見の件数が6人から20件は、他の事案に比較して多い。関心が高いことが良く解る。審議会への報告が最後の審議会では遅すぎる。委員が検討する時間が無い。	基準	・公募意見のとりまとめがされていない。	基準	・ほぼ基準通りであるが、積極的に意見を取る姿勢が見られない。	基準	・意見が多くていいと思う。
	5		9	5	7	6		
	水準		水準	・市として重要な計画であり募集期間が短かった。 ・概要版が作成されていない。 ・公募から結果公表まで約1年も要している。	水準	・根幹を成す計画、積極的に意見を知る工夫がほしい。	水準	
	2		6	2	7	5		
アンケート調査の実施	基準	1.4つのアンケートを実施したことは良かった。 2.4つを同一基準で評価するのは難しい。 3.転入者アンケートは何件の転入者があったのか？いつの審議会に報告したのか不明。 4.若い世代へのアンケートの回収件数が81件だが、予定件数に対して回収率はどうかだったのか？ 5.モニターへの回収督促をすべきではなかったか。	基準		基準	・アンケートの実施方法、周知など不十分と思われる。	基準	・窓口でお願いしたり、保護者にQRコードを渡すのは良いアイデアだと思う。
	6		9	5	7	7		
	水準		水準	・各センターでの結果公表追加が望ましい。	水準	・WEBを取り入れてのアンケートの試みは評価するも、積極的に意見を取る配布方法なり周知なり工夫がほしい。	水準	・eモニター制を知らない人が多いと思う。
	5		9	2	7	6		
ワークショップの開催	基準	・事前周知を積極的に行ったことは分かる。	基準	・会議資料の公開が無い。 ・終了後の意見受けが無い。	基準	・タウンミーティング・意見交換会に於いて、参加者募集の周知の方法に工夫の跡も見られる。	基準	・令和元年の4回のみ出席がなぜ多いのか。
	6		7	5	7	6		
	水準		水準	・開催記録の公表の時期は適切とは思いますが、意見への市の公表時期は遅い。	水準	・市民の関心も高い計画である。開催資料の配布にとどまらず、声掛けなど積極的な行動がほしい。	水準	・令和2年はなぜほとんど参加者が減っているのか。
	4		5	3	6	6		

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2・3回会議での発言があったものを示しています。

¥4Ä x2(q q

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号㊦ 白井市第2次教育大綱策定事業

委員氏名							
総合評価 ①+②+③ 上限(30点)		◎ 良好 21点	○ 妥当 17点	◎ 良好 20点	◎ 良好 23点		
総合コメント		・市民参加の方法がパブリックコメントのみというのは取組み不足。	・市民意見交換会(令和2年1月26日・文化センター)が行われたことは(学校・子育て分野の意見について計画策定の参考とした)、どこまで活発な意見の交換がなされたのでしょうか。	・パブリックコメントの手続きなどに関しては、基本的に問題が無かったと思います。ただ、ホームページのアクセス件数が少ないこと、パブリックコメントの件数も多くないことから、市民への周知方法についてもう少し積極的に行っても良かったと思います。	・専門的な内容であったため、パブリックコメントだけを実施したことは理解できるが、そうであれば、もう少し積極的にパブリックコメントを実施し、それらの意見を審議会にフィードバックする機会があっても良かったのではないかと考えられる。		
担当課ヒアリング 質問事項		・独自の審議会設置やアンケート調査の実施などは考慮に入れたのか。	・調査票3ページの8. 自己評価の文面にある「住民意識調査」「市民意見交換会」を活用しとあり、「活用し」は適切な表現ではないと思われま。す。「行い」が正確ではないかと思われま。す。いかがでしょうか。	・パブリックコメントの件数が少ない理由は何かありますでしょうか。	・今回パブリックコメントのみ実施した理由について教えてください。 ・パブリックコメントで吸い上げられた意見をあまり反映できなかった理由について教えてください。		
評価項目		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
①市民参加の方法	評点	6	・パブリックコメントのみの市民参加では不足。	6	・抜かり落ちないが、1人の5件の意見が今後の参考とする意見として反映されるものとしていただけを期待します。コメント(意見数)は少ないです。	6	市民の意見を把握するため、パブリックコメントは必要な参加手法であったと思います。
	区分	やや不適切		やや不適切		やや不適切	
②市民参加の手続き(基準)	評点	9		6		8	
	区分	良好		要改善		妥当	
③市民参加の手続き(水準)	評点	6		5		6	
	区分	積極的		積極的		積極的	
手法ごとの評価		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
パブリックコメント (意見公募)募集	基準		・概ね適切であった。	基準	・すべて網羅されている。	基準	・パブリックコメントの手続きにおいて問題は無かったと思います。
	9			6		8	
	水準		・上記に同じ	水準	・計画や条例の概要が出されていない。	水準	・もう少し周知方法を積極的に行っても良かったと思います。
	6			5		6	・市民参加の機会がパブリックコメントだけであったにも関わらず、意見がほとんど反映されていない。審議会で検討する必要はなかったのか？

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2・3回会議での発言があったものを示しています。

¥4Ä x2(q q

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号㊦ 白井市第2次教育大綱策定事業

委員氏名								平均(小数点以下切り捨て)			
総合評価 ①+②+③ 上限(30点)		○ 妥当	14点	○ 妥当	17点	× 不良	5点	◎ 良好	20点	○ 妥当	17点
総合コメント		1.市民参加の方法として、パブリックコメントだけでは不十分です。 2.アンケート調査を実施したとの記載があるが、何故、調査票に資料が添付されていないのか疑問に思う。その①内容(概要)、②計画策定時に反映したのか、③反映した内容を記載して欲しい。 3.審議会設置の代わりとして各機関と協議を行った内容及び計画策定に反映した内容を記載して欲しい。 4.手続き面だけではなく、内容・結果の実質的な面でも評価すべきだと思う。		・協議を行った審議会には市民も含まれているが、本件への直接的な市民参加としてはパブリックコメントだけで、アンケートは既存ルーチンを利用しており、これらがどの様に組み合わせて活用されたかが不明。 市民参加が求められたので、パブリックコメントだけでもやってみたとの印象を拭えない。		・本事業報告からは市民参加という形式づくりをただで市民参加事業とはいいがたい。 ・教育委員会内の各課に於いてアンケート調査を実施とあるが、実態が不明。また「白井市第5次総合計画後期基本計画」策定の際の「住民意識調査」など活用としたが、詳細不明。		・パブリックコメントの募集となっているが、アンケートも実施しているので良いと思う。			
担当課ヒアリング 質問事項		・パブコメの手続きは概ね基準通りだが、アクセス数13件と意見は1人では少なすぎる。市民参加の手法として唯一採用したにも拘わらず、この結果に対して、どのように考えていますか?				・各分野の審議会、校長会、教頭会などの意見を審議会を設けて論議すべきではなかったか。					
評価項目		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント		
①市民参加の方法	評点	2	・総合コメントのとおり。	4	・協議を行った審議会には市民も含まれているが、本件への直接的な市民参加としてはパブリックコメントだけ。 ・アンケートは既存ルーチンを利用しており、これらがどの様に活用されたかが不明。	1	・本事業に於いて、唯一直接広く市民の意見を集めるために行われた手法にも拘らず、積極的に取り組んでいるとは感じられず、市民参加の効果も無いに等しい。	7		4	
	区分	不適切		不適切		不適切		概ね適切		不適切	
②市民参加の手続き(基準)	評点	8		9		3		7		7	
	区分	妥当		良好		不良		妥当		妥当	
③市民参加の手続き(水準)	評点	4		4		1		6		5	
	区分	やや積極的		やや積極的		普通		積極的		積極的	
手法ごとの評価		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント		
パブリックコメント (意見公募)募集	基準			基準		基準	・パブリックコメントのほぼ基準は満たしていると思われるが、積極的に意見を取る姿勢が見られない。	基準	・パブコメの収集が目的であれば期間はもう少し長くても良かったと思う。	基準	
	8			9		3		7		7	
	水準			水準	・概要版が作成されていない。	水準	・積極的に意見をとる工夫がほしい。	水準		水準	
	4			4		1		6		5	

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2・3回会議での発言があったものを示しています。

¥4Ä x2(q q

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑦ 白井市教育振興基本計画策定事業

委員氏名									
総合評価 ①+②+③ 上限(30点)		○ 妥当	17点	○ 妥当	17点	○ 妥当	17点	○ 妥当	19点
総合コメント		・パブリックコメントのみの方法では不足。		・1月26日文化センターにて行われた意見交換会で核心にせまった内容の議論がなされたのでしょうか。		・パブリックコメントの手続きなどに関しては、基本的に問題が無かったと思います。また、SNSやQRコードを活用して多くの市民から意見を集めようとしたことも評価できると思います。ただ、パブリックコメントの件数が0ということは、何かあったのでしょうか。		・専門的な内容であったため、パブリックコメントだけを実施したことは理解できるが、そうであれば、もう少し積極的にパブリックコメントを実施しても良かったのではないかと考えられる。オンラインアンケートを用いて若い人が手軽に参加できる手法を用いたことは評価できるが、それが若い人に浸透していなかったのではないかと考えられる。わかりやすい計画概要などを作成する、チラシを作るなど、積極的に広報すべきではなかったか？	
担当課ヒアリング 質問事項		・独自の審議会設置やアンケート調査の実施などは考慮に入れたのか。		・計画期間は令和3年4月から令和7年3月までとなっています。コロナ収束のめどがたちませんのでその点を意識した計画文書を作成することはできないのでしょうか。教育まで上流階級・中産階級と分かれて物事を考えていくということでしょうか。		・パブリックコメントの件数が0というのは、何か理由があるのでしょうか。		・QRコードでオンラインアンケートを行なった理由について教えてください。若い方の参加を促すためでしょうか？そうであれば、若い人がアクセスできる場所に広報をすることは考えませんでしたか？	
評価項目		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
①市民参加の方法	評点	6	・市民参加の方法が1つだけでは不足。	6	・パブリックコメントが1月に実施され、アクセス数は130件程度であった。しかし、パブリックコメントの意見件数は0件とは少なすぎます。いかがなものでしょうか。	6	・市民の意見を把握するため、パブリックコメントは必要な参加手法であったと思います。	5	・専門的な内容であるため、パブリックコメントのみ行なったことは理解できるが、パブリックコメントが0件であったため、評価が低くなっている。
	区分	やや不適切		やや不適切		やや不適切		やや不適切	
②市民参加の手続き(基準)	評点	7	/	6	/	7	/	8	/
	区分	妥当		要改善		妥当		妥当	
③市民参加の手続き(水準)	評点	4	/	5	/	4	/	6	/
	区分	やや積極的		積極的		やや積極的		積極的	
手法ごとの評価		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
パブリックコメント (意見公募)募集	基準		・結果公表をHPだけでは不十分。	基準	・条例の求める基準に沿っています。 ・SNSでの配信は新たな取組みとして評価できます。	基準	・パブリックコメントの手続きとして問題は無かったと思います。	基準	・パブリックコメントで求められる内容はクリアしている。
	7	6		7		8			
	水準		・上記に同じ	水準	・事前にセンター等に自ら足を運んで周知していない。	水準	・応募方法としてSNSを活用、資料提供としてQRコードを活用していることなど、より多くの市民から意見を集めようとしているところは良かったと思います。	水準	・QRコードを用いてオンラインアンケートを実施したことは評価できるが、あまり利用されていないのではないかと考えられる。
	4	5		4		6			

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2・3回会議での発言があったものを示しています。

¥4Ä x2(q q

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑦ 白井市教育振興基本計画策定事業

委員氏名								平均（小数点以下切り捨て）			
総合評価 ①+②+③ 上限（30点）		△ 要改善	12点	○ 妥当	17点	× 不良	6点	○ 妥当	17点	○ 妥当	15点
総合コメント		1.市民参加の方法として、パブリックコメントだけでは不十分です。 2.教育委員会のアンケート調査の内容や住民意識調査の内容について、何故、調査票に資料が添付されていないのか疑問に思う。その①内容(概要)は?②計画策定時に反映したのか、③反映した内容を記載して欲しい。 3.審議会設置の代わりとして各機関と協議を行ったと記載されているが、その内容及び計画策定に活用・参考にし、反映した内容を記載して欲しい。 4.パブコメの計画案がボリュームがあるのであれば、概要を作成して提供した方が市民に分かり易かったのではないか。 5.手続き面だけでなく、内容・結果の客観的な面でも評価すべきだと思う。		・協議を行った審議会には市民も含まれているが、本件への直接的な市民参加としてはパブリックコメントだけで、アンケートは既存ルーチンを利用しており、これらがどの様に組み合わせて活用されたかが不明。 市民参加が求められたので、パブリックコメントだけでもやってみたいとの印象を拭えない。		・本事業報告からは市民参加という形式づくりをただだけで市民参加事業とはいいがたい。 ・教育委員会内の各課に於いてアンケート調査を実施とあるが、実態が不明。また「白井市第5次総合計画後期基本計画」策定の際の「住民意識調査」など活用としたが、詳細不明。		・パブリックコメント募集ではあるが、アンケート調査なども行っているのが適切だと思う。			
担当課ヒアリング 質問事項						・各分野の審議会、校長会、教頭会などの意見を審議会を設けて論議すべきではなかったか。					
評価項目		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント		
①市民参加の方法	評点	2		4	・協議を行った審議会には市民も含まれているが、本件への直接的な市民参加としてはパブリックコメントだけ。アンケートは既存ルーチンを利用しており、これらがどの様に活用されたかが不明。	1	・本事業に於いて、唯一直接広く市民の意見を集めるために行われた手法であるが、市民参加の効果は無いに等しい。	7	・せっかくの募集にコメントがなかったのが残念だと思う。	4	
	区分	不適切		不適切		不適切		概ね適切		不適切	
②市民参加の手続き(基準)	評点	6		9		4		6		6	
	区分	要改善		良好		不良		要改善		要改善	
③市民参加の手続き(水準)	評点	4		4		1		4		4	
	区分	やや積極的		やや積極的		普通		やや積極的		やや積極的	
手法ごとの評価		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント		
パブリックコメント (意見公募)募集	基準			基準		基準	・パブリックコメントの発信に於いては多少SNSやQRコードなど工夫は見られる。	基準	・アクセスしやすい工夫は良いと思う。	基準	
	6			9		4		6		6	
	水準			水準	・概要版が作成されていない。	水準	・内容が広範囲で、資料量も膨大である。意見を取るための方策がほしい。例えば、是非市民意見がほしいところを強調するなど。	水準	・期間をもう少し長くしても良かったと思う。	水準	
	4			4		1		4		4	

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2・3回会議での発言があったものを示しています。

¥4Ä x2(q q

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑧
 障害者計画2016-2025中間見直し及び第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画策定事業

委員氏名		◎ 良好 23点		○ 妥当 14点		○ 妥当 19点		◎ 良好 23点		
総合評価 ①+②+③ 上級 (30点)		◎ 良好 23点		○ 妥当 14点		○ 妥当 19点		◎ 良好 23点		
総合コメント		・概ね適切。		・内容が特異したものであるため、法律に関すること、障害福祉に関すること、専門的なこと、あらゆる知識が必要だと思われる。障害児通所支援等の提供量の見込みを促す計画であるなら、特定の障害者団体のヒアリングが必要であったとは感じないと思います。		・市民参加方法として、パブリックコメントやアンケート調査だけではなく、関係者個別にヒアリング調査を実施したことは良かったと思います。ただ、パブリックコメントの周知方法は、もう少し積極的に進めても良かったと思います。		・様々な市民参加の手法を組み合わせたことが評価できた。特に、団体へのヒアリングを行なって、より関係の深いステークホルダーの意見を聞き入れようとしていることも積極的であった。その他に該当するため、本種組みで評価することが難しかったが、担当する職員にとっても良い機会になったのではないかと考えられた。		
担当職ヒアリング 質問事項		・市民公募委員の人数は妥当か。		・特別に団体の方に（補助者の方含む）かなりプライバシーに配慮した形の質問事項が必要と思われるが、どこまで内容を吟味した項目を考えられましたでしょうか。		・ホームページのアクセス数や、パブリックコメントの件数が少ない理由は何かあるのでしょうか。		・資料等を福祉施設で公開しなかったのは何故でしょうか？ ・ヒアリングはどのように反映したのでしょうか？		
評価項目	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		
①市民参加の方法	評点	10	・よく取り組まれている。		6	・各手法を取り入れ素早い。公募委員の選出において、清水小学校区や南山小学校区等からの応募者はなく、地域の偏りがある事が気になります。		7	・市民参加の方法として、パブリックコメントやアンケート調査だけではなく、ヒアリング調査も実施したことは良かったと思います。	
	区分	適切			やや不適切			概ね適切		
②市民参加の 手続き (基準)	評点	8	/		4	/		7	/	
	区分	妥当			不適			妥当		
③市民参加の 手続き (水準)	評点	5	/		4	/		5	/	
	区分	積極的			やや積極的			積極的		
手法ごとの評価	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		
審議会の設置	基準	・概ね適切だが、公募委員の比率を30%以上にしたい。		基準	・情報公開コーナー、HP、図書館以外周知されていないのが残念です。		基準	・審議会の進め方として大きな問題はなかったと思います。		
	8			4			7			
	水準	・上記に同じ		水準	・主要な場のみならず周知した方がよいです。		水準	・積極的に会議の事前周知や会議録の公開などを行っても良かったと思います。		
	5			3			5	・女性の割合が多いことが評価できる。福祉施設等で公開しても良かったのではないかと。		
パブリックコメント (意見公募)募集	基準	・概ね適切だが、意見がトータルで1件のみとは物足りない。		基準	・専門的な内容であるが基準に沿っているため評価に当たります。		基準	・応募方法についてホームページを活用するなど、パブリックコメントの手続きとしては問題なかったと思います。		
	9			4			7			
	水準	・上記に同じ		水準	・パブリックコメントの取り扱いが0件とは悲しすぎる。		水準	・パブリックコメントの周知方法などをもう少し積極的に進めても良かったと思います。		
アンケート調査の実施	基準	・適切。		基準	・障害者手帳を所持していない市民に900名アンケートされたところがあるが、どのような内容なのか気になります。		基準	・アンケートの手続きとして問題はなかったと思います。		
	10			7			9			
	水準	・上記に同じ		水準	・回収率を上げるための工夫をされている（督促ハガキの送付）。素晴らしい。		水準	・アンケートの回収率を上げる工夫など行われており、問題なかったと思います。		
	9			7			9	・本計画の主旨にあったアンケートの方法がとられている。 ・障害者手帳所持者は全員、持っていない人は無作為とすることで、重み付けをしていることは評価できた。		
その他の方法	基準	・概ね適切だが、事前周知の方法は問題有。		基準	・特定された事業であるため一概に統一したものの見方をすることは難しい。		基準	・アンケートだけではなく、個別に関係者にヒアリングを行うことは必要だと思います。		
	8			4			8			
	水準	・上記に同じ		水準	・結果公表まで一年の期間は少々長いように思われます。		水準	・関係者のプライバシーに関わってくることが多いと思います。そのなかで目的通り、ヒアリング調査ができたのではないかとと思います。		
	5			3			3	・ヒアリングの内容の要点を公開しているため評価を高くした。		

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2・3回会議での発言があったものを示しています。

¥4Å x2(q q

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号④
障害者計画2016-2025中間見直し及び第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画策定事業

委員氏名		△ 要改善		◎ 良好		× 不良		◎ 良好		平均（小数点以下切り捨て）			
総合評価 ①+②+③ 上限（30点）		12点		21点		9点		24点		○ 妥当 18点			
総合コメント		1.審議会の第1回目と2回目の間隔が9カ月以上長すぎる。書面会議とかが工夫が必要ではなかったのか。 2.公募委員の数が少ないのではないか。 3.パブリックコメントを実施したが意見が無かったのは内容に問題又は工夫が足りなかったからではないか。 4.アンケートの結果やヒアリング調査を計画策定に、どのように活かしたのか不明。 5.会議は公開の為、事前に資料を公開した方がよいと思う。 6.手続き面だけではなく、内容・結果の実質的な面でも評価すべきだと思う。		・複数の手法で障害者個人の意見をまとめているが、審議会では公募人数が少なく、もっと増やすべきではないか。 ・結果公表までの時間がかりすぎている。また、結果に基づいた議論がしっかりとされたのか不明。		・初めての計画策定事業でない。審議会の開催から推察するに、十分な審議が行われたか疑問。パブリックコメント実施については検討を要する。		・全体的にバランスがとれていると思う。重要だがデリケートな事なのでもっと良くなってほしい。					
担当課ヒアリング 質問事項		1.6団体は、市内の総団体数の何割ですか。 2.応募者の51歳～65歳の2名を不採用とした理由は何か。 3.パブリックコメントを行ったが、意見が無かった理由は何かと聞かれていますか。 4.アンケートの報告を審議会に何時したのですか？ もし、しなかったのであれば、その理由を教えてください。 5.ヒアリングの日時から開催記録の公表日まで1年は長すぎるのではないかと。 6.ヒアリング団体を3団体とした理由は？ 又何故この3団体としたのですか？											
評価項目		評点		コメント		評点		コメント		評点			
①市民参加の方法	評点	5	・色々な手法を用いているのは良かったと思います。その手法を用いて得られた結果がどのように計画に活かされたのか具体的に説明があれば良かったのに、無いため、活かすためのものが得られなかったのではないかとこの疑問を抱いた。	7		3	・アンケート調査の実施については実施方法に満足しないが評価。審議会、パブリックコメントについては評価せず。その他の手法については、担当課による業界団体ヒアリングで市民参加としては適切でない判断、評価対象外とした。	9	・パブコメが少ないのが少し気になる。	6			
	区分	やや不適切		概ね適切		不適切		適切		やや不適切			
②市民参加の 手続き (基準)	評点	5		9		4		8		6			
	区分	要改善		良好		不良		妥当		要改善			
③市民参加の 手続き (水準)	評点	2		5		2		7		4			
	区分	やや積極的		積極的		やや積極的		とても積極的		やや積極的			
手法ごとの評価		評点		コメント		評点		コメント		評点			
審議会の設置	基準	・会議は公開としているのだから、聴取者のために会議資料を事前公開にした方が参加しやすいのではないかと。	基準		基準	・審議スケジュールが問題である。第1回2018年10月、第2回～第5回2020年7月から、2年間近く審議無し。計画通りの審議ができたのか疑問である。	基準	・男女比・出席率ともに良いと思う。	基準		基準		
	6		9		2		9		6				
	水準	・1回目と2回目の審議会の間隔が長すぎる。書面会議等の活用はできなかったのですか？	水準	・障害者関係団体の参加はあるがもっと公募人数を増やす必要がある。 ・各センター等での募集が無い。	水準	・審議内容と共に審議スケジュールを計画し、開催間隔も一定の間隔で実施する。	水準		水準		水準		
	3		4		1		8		4				
パブリックコメント (意見公募)募集	基準	・意見の件数が「0」なのは、やり方に問題はなかったのか。	基準		基準	・基準は満たしていると思うが、意見は無し。積極的に意見を取る姿勢が見られない。	基準	・期間も長めに設定されていて良いと思う。	基準		基準		
	4		9		4		8		6				
	水準	・審議会にどのように報告したのか。	水準	・概要版の作成が無い。 ・結果公表がされていないものがある。	水準	・今回が初めての実施でなく、実行が上からないのであれば、取りやめて、他の手法に注力する方法もある。	水準		水準		水準		
	2		6		1		6		4				
アンケート 調査の実施	基準		基準		基準	・回収率も高く、基準通りと思われるが選定者の範囲や、プライバシーについて疑問も残る。	基準	・期間が長めになっているのは良いと思う。回収率がもう少し高ければと思う。	基準		基準		
	7		9		6		8		8				
	水準	1.何回の審議会に報告したのか。調査票3頁に記載が無い。 2.アンケート結果を計画案にどのように活用したのか不明。	水準	・各センターでの周知がなされていない。 ・結果公表まで半年以上は長すぎる。 ・結果に基づいた議論がされていない。	水準	・アンケートを実施する前に、アンケートの内容、特にプライバシーの問題も含め、審議会に協議すること。	水準		水準		水準		
	5		5		4		7		6				
その他の方法	基準	1.ヒアリングの調査目的やその内容は良かったと思う。 2.開催日と開催記録の公表日が前後逆ではないか。 3.ヒアリング団体を3団体とした理由は？ 4.当該団体とした理由は何？ 5.ヒアリング結果がどのように活かされたのかを記載した方がよい。	基準		基準		基準	・複数の団体への調査は良いと思う。	基準		基準		
	5		9		—		9		7				
	水準	・評価が難しい。	水準	・記録の公表に1年間要している。	水準		水準		水準		水準		
	0		5		—		7		4				



8

2

	3	
	<hr/>	
		<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
	<hr/> <hr/> <p>27</p>	



5

3

3		

		_____ e 1 1 5 _____



2

3

	3	
		<hr/>



3

	3	
	<hr/>	<hr/> 0
		<hr/>
	S N S O R	



2016 - 2025
2

6

3

	3	
		<hr/> <hr/>
		1

